

8月号から市内小学校(8校)・中学校(3校)・高校(2校)による子ども達の手づくりによる広報紙を特集しています。テーマ、写真、取材、編集、構成までを一貫して行っていただきました。

今回は、最初に谷村工業高校、次に東桂小学校の児童が作成した記事をお届けします。

さて、来月はどこの学校かな？

谷村工業高校

しだれ桜を両脇にかかえる洗心橋を、家中川のせせらぎを聞きながら渡って行くと、創立以来一〇五年の伝統を誇る県立谷村工業高校の校舎が迎えてくれます。

現在、本校では五つの科・コースが存在し、調和のとれた人間の育成、将来の産業界を担う工業人の育成を目指し教育活動が行われています。

今回の特集にあたり谷村工業高校では、特色ある活動を内部からの視点で紹介させていただきます。



●一〇五年間の変遷

本校の創立は明治二十九年、山梨県南都留郡染色学校として南校舎が谷村町に設置されたのがはじまりで、その後、山梨県立工業学校、山梨県立工商学校、山梨県立谷村工商学校へと変遷してまいりました。また東校舎は谷村実科女学校としてはじまり、その後、町立谷村実科高等学校、町立谷村高等女学校、山梨県立谷村高等女学校、山梨県立谷村東高等学校へと変遷し、そして東と南の校舎が統合し、山梨県立谷村高等学校、のちに普通課程が分離して山梨県立桂高等学校となり、残った工業科課程の充実を図り、現在の山梨県立谷村工業高校となりました。

長い歴史の中で、さまざまな変遷を見せていますが、この事からも職業高校として常に社会のニーズに対応した人材を育成してきた事がわかります。

●新たな才能の息吹

— デザイン展 —

デザインコースでは、定期的に私達の作品を外部会場にて展示しております。

同コースの生徒が実習で制作したデザイン画や造形作品などの「美」と「創意工夫」があふれる作品群を、主に銀行のロビーや、ショッピングセンターのイベントスペースなどをお借りして展示しております。年々認知度も作品レベルも向上し、充実した展覧会に成長しつつあります。若き才能が乱舞する様を是非一度観に来てください。

●地域・環境・技術の

コラボレーション

谷村地区には江戸時代に開削された水路「家中川」があちこちに見られます。この家中川の水力を利用し、発電実験をしようという試みが行われています。今回の実験は市役所前の家中川に新型水車実験装置を設置して行われています。環境化学コースでは三年生の課題研究の一環として、このプロジェクトのお手伝いをさせて頂いております。

この水車は信州大学工学部の池田俊彦教授と長野県短期大学の長沢忠延教授がメーカーと協力して開発したもので、池田教授が市のエネルギービ



家中川における新型水車実験装置の看板



家中川の水流を受け回転する水車



水車の説明を受ける環境化学コースの生徒

ジョン策定委員長を務めたのがきっかけで、家中川へ設置されることになりました。去る七月十五日に実験開始式が行われ、八月下旬まで本校生徒・先生方が発電量や回転数の記録、水車の保守などに協力をしました。計測したデータは大学に提出し、実用化に向けてデータの解析や研究が進められています。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。これからも継続して実験のお手伝いをする予定です。